

レセプトチェッカーLS インストール版 Ver. 1.4.0 S128 (build006) リリースノート

この文書は、レセプトチェッカーLSインストール版Ver. 1.4.0 S128導入時の注意事項などについて記載しています。

レセプトチェッカーLSインストール版をご利用の際は必ず目を通していただくようお願いいたします。また、これらの内容はユーザーのフィードバックを受けて更新されることがありますので、随時最新情報をご確認ください（最新情報は https://receiptcheckerls.info/rn_install/ でご確認ください）。

1. 導入についての注意事項

1-1. アップデート適用環境について

レセプトチェッカーLSインストール版 S128更新用Setup.exeを利用される場合は、更新用Setup.exeをダウンロードするためのインターネット環境が必要です。

1-2. インストール方法

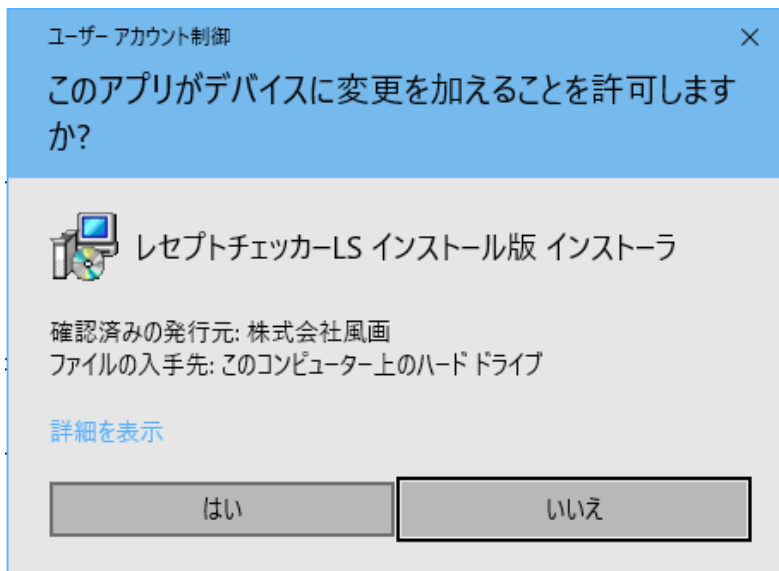
【手動更新】

(1) 下記サイトより、レセプトチェッカーLSインストール版更新用Setup.exeをダウンロードします。

レセプトチェッカーLSインストール版最新版のダウンロードサイト

https://receiptcheckerls.info/ls_version/

(2) ダウンロードした Setup.exe をダブルクリックで起動します。



上図の「ユーザーアカウント制御」画面が出たら、「はい(Y)」をクリックして進めます。

「いいえ(N)」をクリックすると終了します。

「レセプトチェッカーLSインストール版 セットアップウイザードの開始」画面が表示された場合は「次へ」をクリックします。

使用許諾契約書の同意についての確認画面が表示されます。スクロールすることで、最後までお読みいただけます。

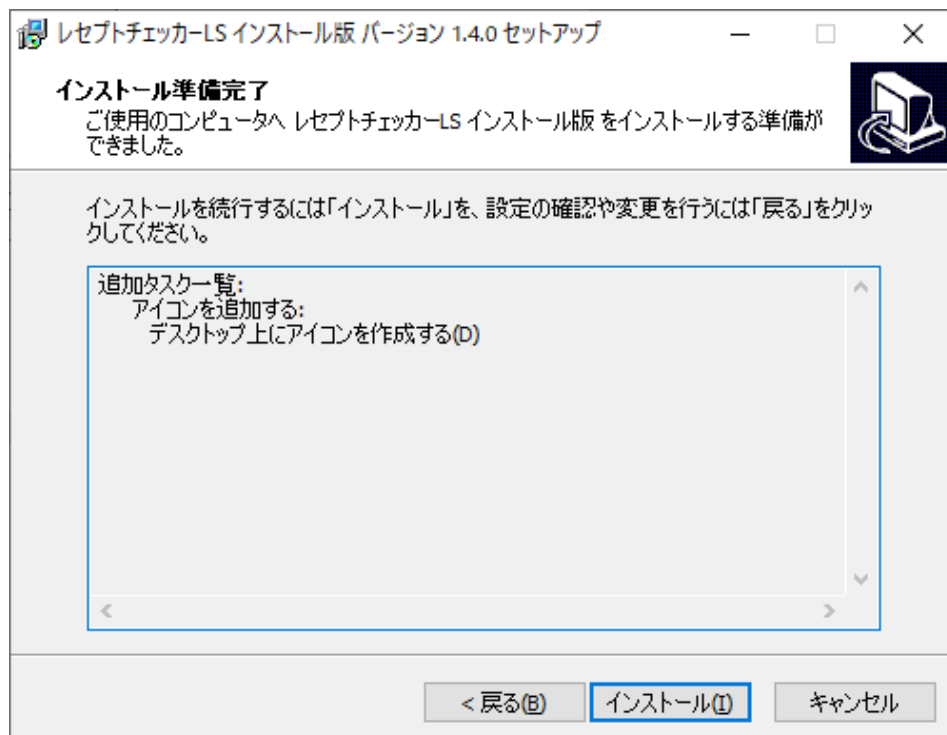


「同意する」にチェックして「次へ」をクリックします。

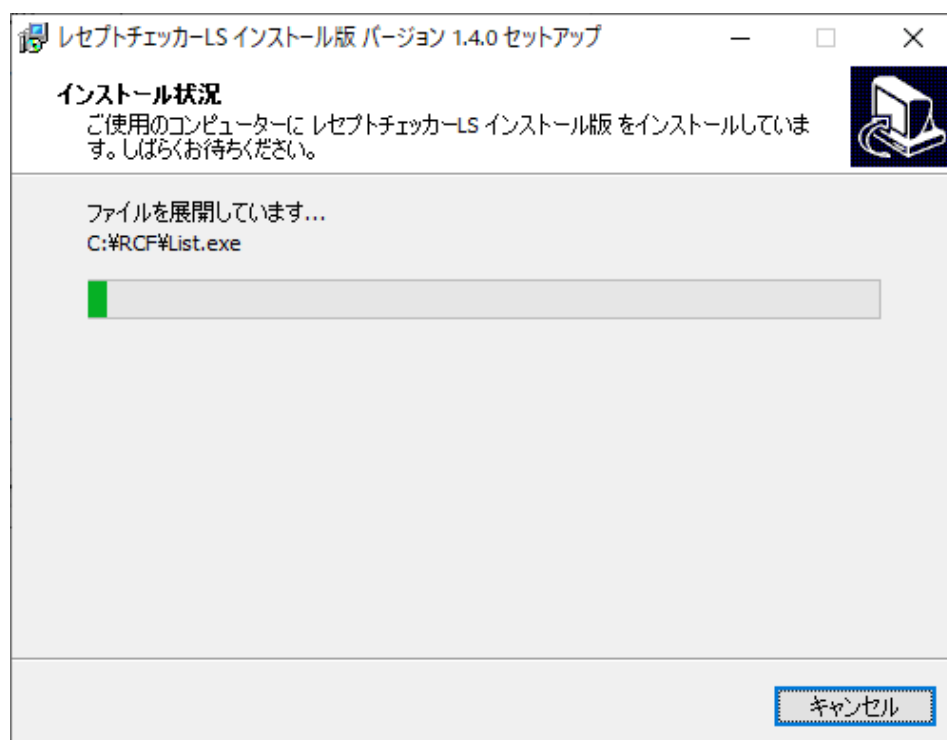
「レセプトチェッカー-LS インストール版」のアイコンを作成するので、「デスクトップ上にアイコンを作成する」にチェックをいれて「次へ」をクリックします。



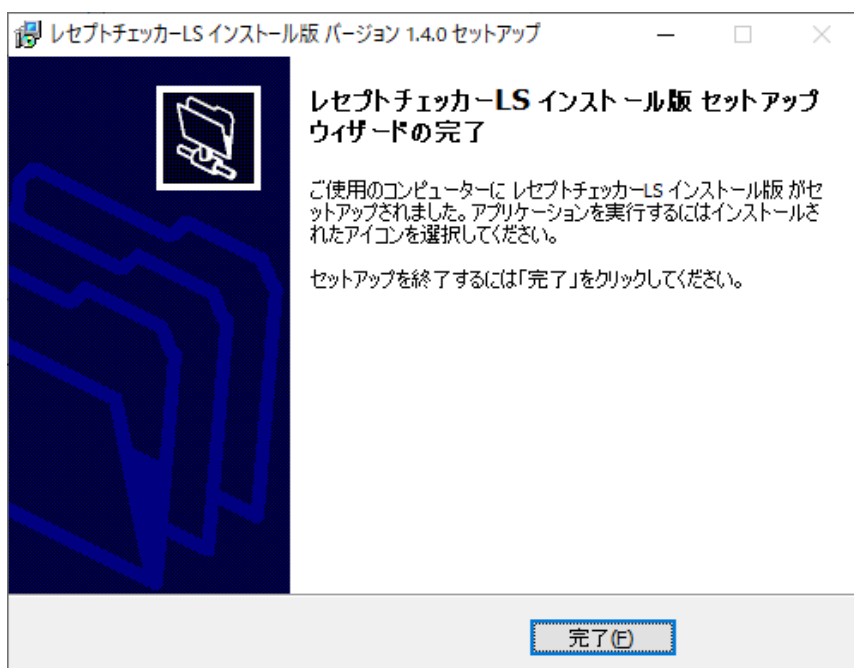
「インストール(I)」をクリックします。



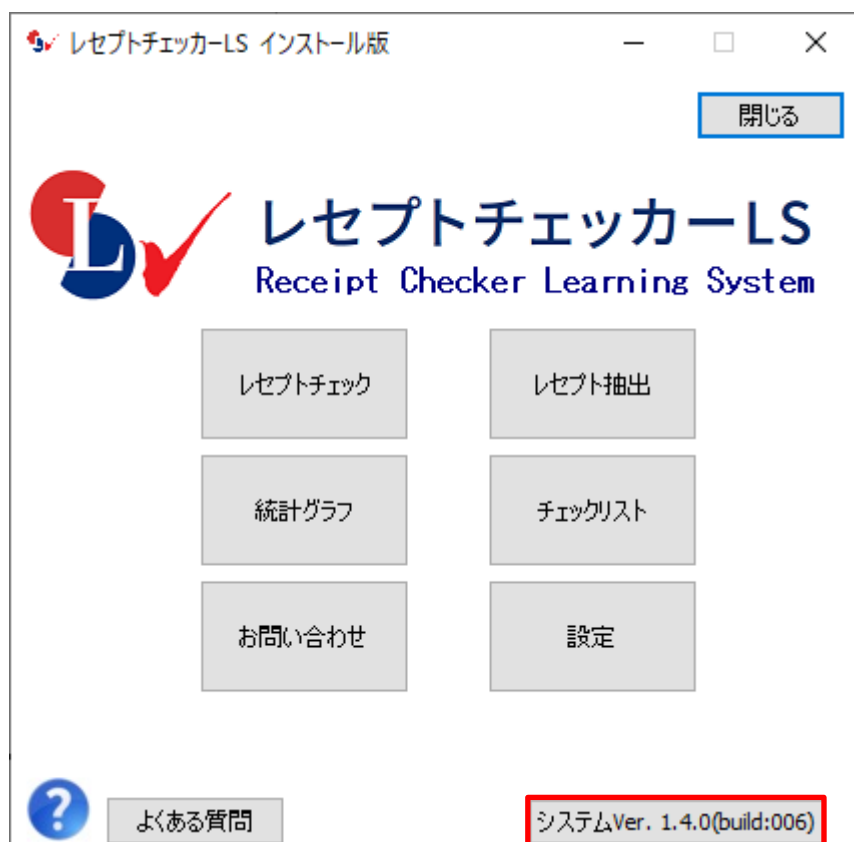
「インストール状況」が表示されます。



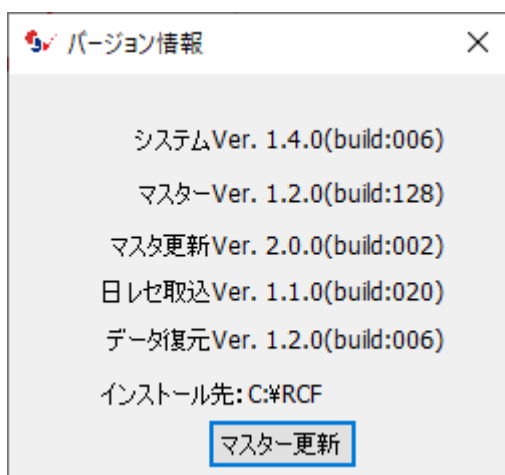
「レセプトチェッカーLS インストール版 セットアップウイザードの完了」画面が表示されます。
「完了」をクリックして終了です。



(3) レセプトチェッカーLS インストール版となり、システムバージョンは Ver. 1.4.0(build:006)になっています。



(4) システムバージョン以外のバージョン情報は、「システム Ver. 1.4.0(build:006)」と表示されたボタンをクリックすると得ることができます。



【自動更新】

「システムVer. 1. 2. 0(build:005)」以降のバージョン場合は、プログラム更新とマスター更新（診療行為や医薬品追加）の両方の更新がある場合は、左下図のように表示されますので、選択することができます。プログラム更新のみの場合は、左下図のように表示されます。

マスター更新（診療行為や医薬品追加）のみの場合は、「マスター更新の確認」画面は表示されず、自動的に更新されます。

【プログラム更新とマスター更新の場合】



【プログラム更新のみの場合】



「システムVer. 1. 2. 0(build:005)」以前のバージョンの場合は起動時に自動的にマスター更新のためのインストール用プログラム(Setup.exe)をダウンロードし、自動でインストール開始します。

以下の画面が表示されますが、「はい」をクリックして進めます。

「レセプトチェッカーFUGA サイトへ」のボタンはプログラム更新後。「レセプトチェッカーLS サイトへ」に変更されます。



上記画面が出ずに、最右下のタスクバーに隠れている場合があります。



その場合は、 をクリックして表示させます。

以降は、【手動更新】の(2)からと同じ展開となります。

2. 変更された主な内容

(1) 診療行為が追加されています。

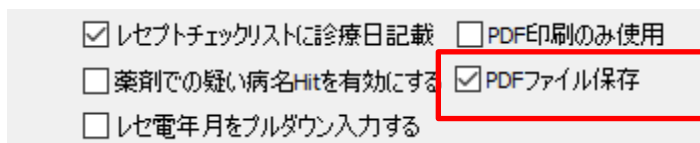
詳しくは、下記サイト「Ver.1.4.0 build:006_128 マスター更新 (LSインストール版)」を参照ください。

<https://receiptchecker.ls.info/mn-s128/>

(2) 「レセプトチェック」後の「グループリスト」画面において、「PDF作成」で任意の場所にPDFが作成できるようになりました。

【設定方法】

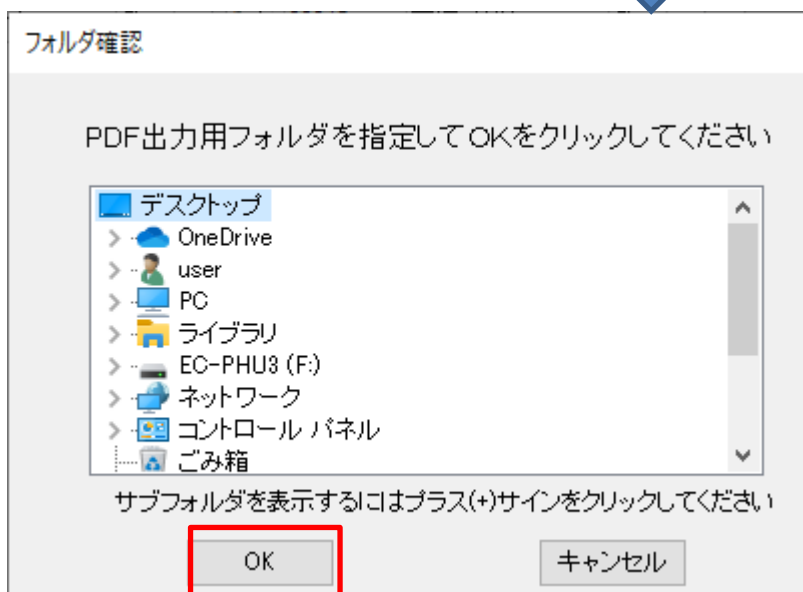
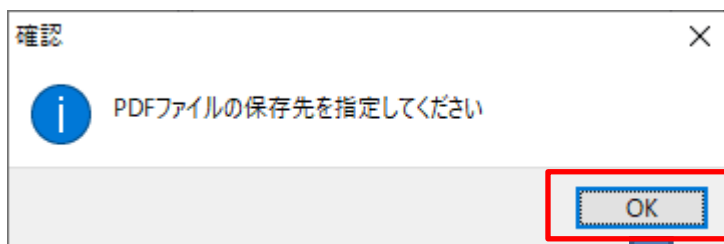
① 「設定」→「初期設定」で「初期設定」画面を表示します。



② 「PDFファイル保存」にチェックを入れます。

③ 「閉じる」をクリックします。

④ 上記の「PDFファイル保存」にチェックを入れた場合、「PDF作成」ボタンをクリックすると保存先を聞いてきます



⑤ フォルダを指定して OK をクリックします。次回からは自動的に保存されます。

- (3) 「レセプト抽出」で「病名抽出条件」に指定文字列のある傷病名のある患者を転帰に有無にかかわらず抽出できる条件を追加しました。

条件4 指定文字列がある病名でコメントなしを抽出する
 条件5 指定文字列がある病名を抽出する
 指定文字列: COVID

単月・縦覧抽出条件

条件設定 複数条件設定
 テンプレート設定 複数診療行為設定

【設定方法】

- ①条件5「指定文字列がある病名を抽出する」にチェックを入れ、「指定文字列」に病名文字を入力して、「条件登録」をクリックします。

- (4) 「レセプト抽出」の「テンプレート設定」で「特定疾患療養管理料（診療所）を算定しているのに初診日から31日以内の患者を抽出する」を追加しました。

【設定方法】

- ①「レセプト抽出」→「レセプト抽出」画面で「新規追加」→「テンプレート設定」→「テンプレートから選択します」の右横プルダウンメニューから「基本診療料」を選択します。
- ②「抽出条件」の一覧をスクロールして最下の「特定疾患療養管理料（診療所）を算定しているのに初診日から31日以内の患者を抽出する」を選択するとボックスに表示されます。
- ③そのまま「設定登録」をクリックすると登録され、「診療行為変更」で「特定疾患療養管理料（診療所）」を変更できます。

テンプレート設定

テンプレートから選択します 基本診療料

ここをクリックして「基本診療料」選択

抽出条件

主病名が存在するのに特定疾患療養管理料が未算定の場合抽出する
 薬剤情報提供料が算定できないのに算定している場合抽出する
 入院外で初診料も再診料も算定されていない場合抽出する
 70歳以上で特記事項未記載の患者を抽出する
 在宅自己注射指導管理料算定しているがインスリン処方のない患者を抽出する
 初診算定日より以前に登録された傷病名があるレセプトを抽出する
 特定疾患療養管理料(診療所)を算定しているのに初診日から31日以内の患者を抽出する

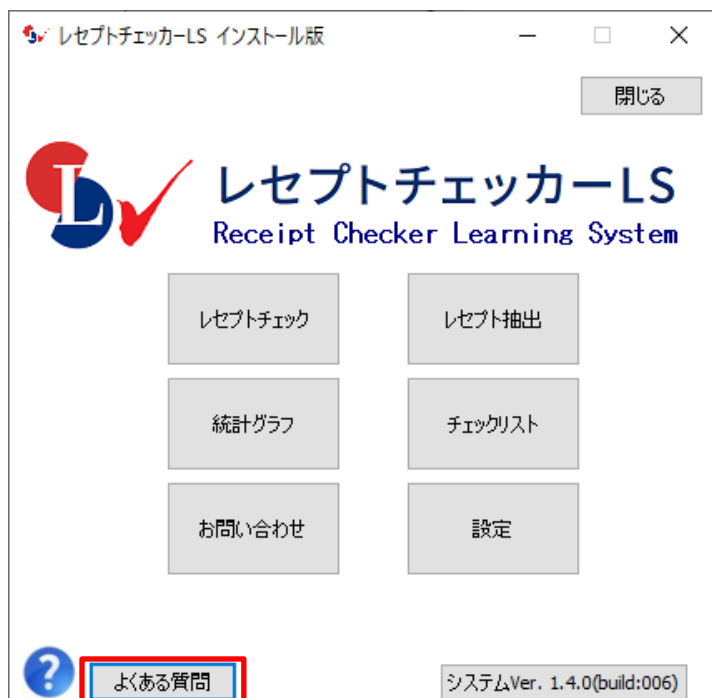
特定疾患療養管理料(診療所)を算定しているのに初診日から31日以内の患者を抽出する

診療行為変更 「診療行為変更」ボタンで変更可能

設定登録 「設定登録」ボタンを忘れずに

キャンセル

- (5) インストール版でのお問い合わせに「新しいパソコンにインストール版を移行する方法」が多くなってきたので、起動時の画面左下に「よくある質問」ボタンに変更しました。
 クリックすると自動的にブラウザが起動し、「よくある質問（インストール版）」が表示されます。

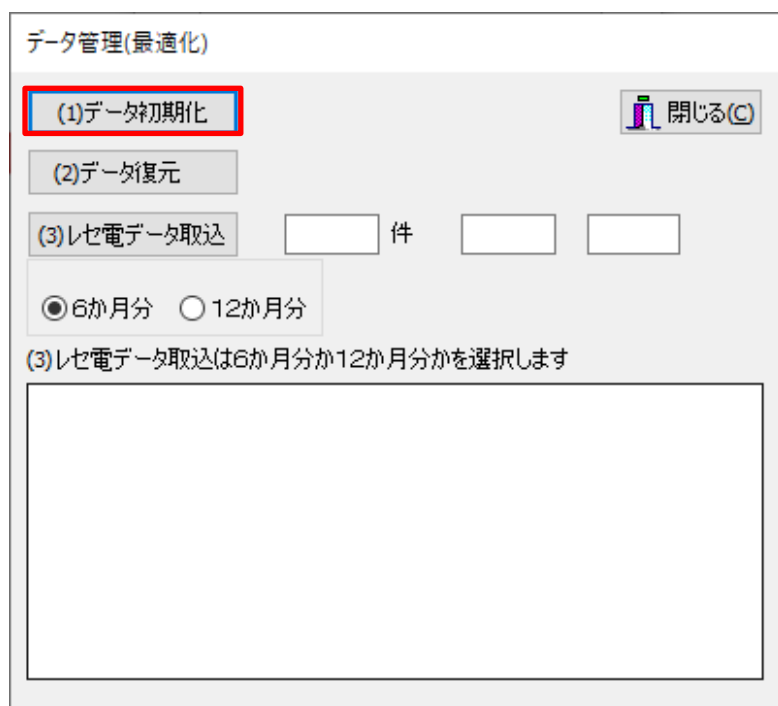


- (6) 「データの最適化」機能を追加しました。

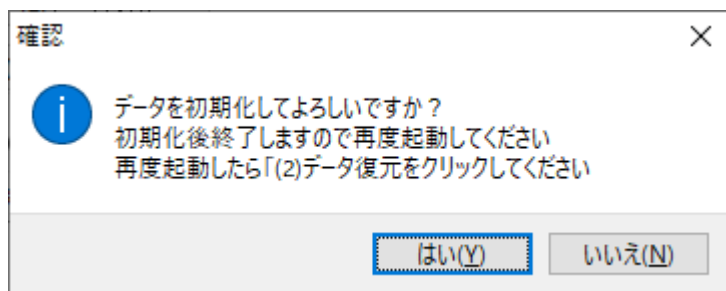
これは、それまで蓄積された学習データや抽出条件を一旦退避し、初期化してから元に戻します。
 その後、レセプト抽出に必要な過去データを6か月または1年分、自動で取り込みます。

【操作方法】

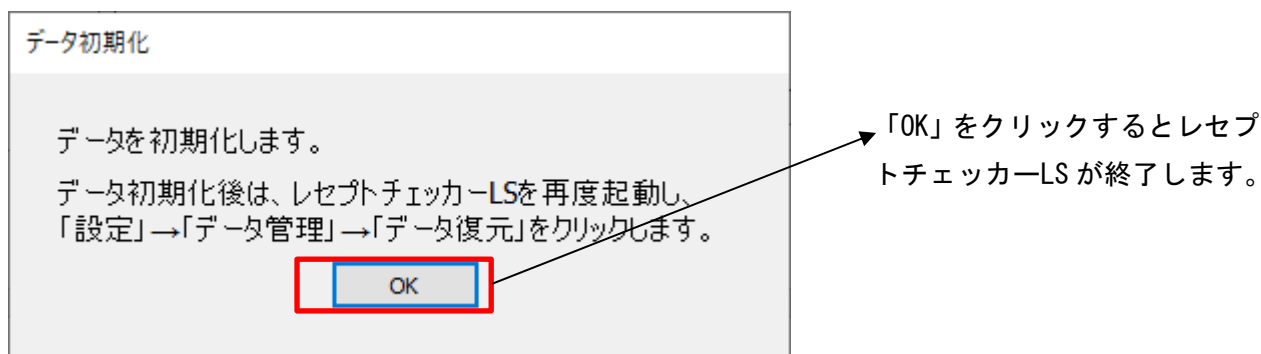
- ①メニューから「設定」→「データ管理」
- ②「データ管理（最適化）」画面が表示されたら、「(1)データ初期化」をクリックします。



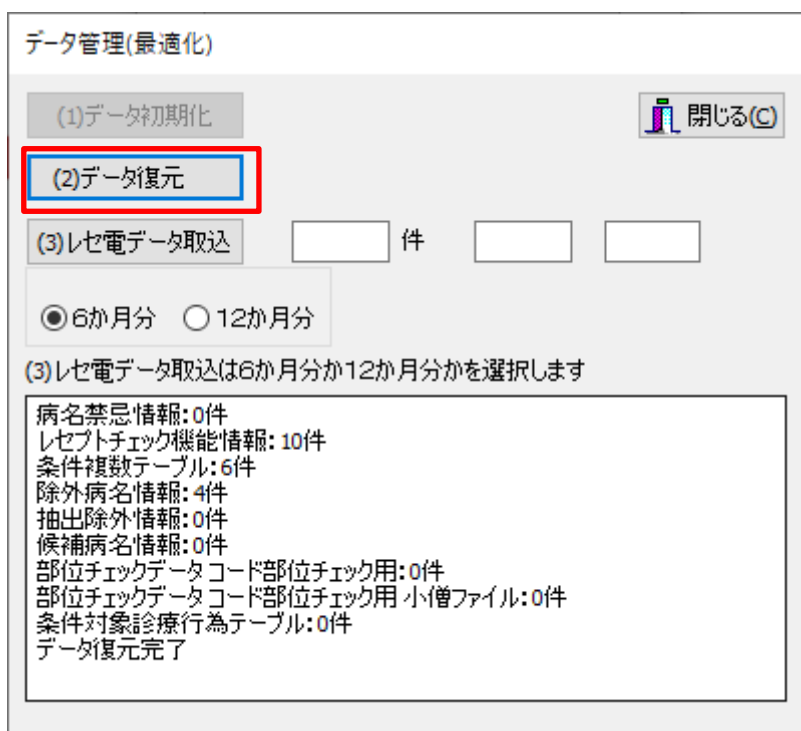
- ③ 「確認画面」が表示されたら「はい」をクリックします。「いいえ」で中止します。



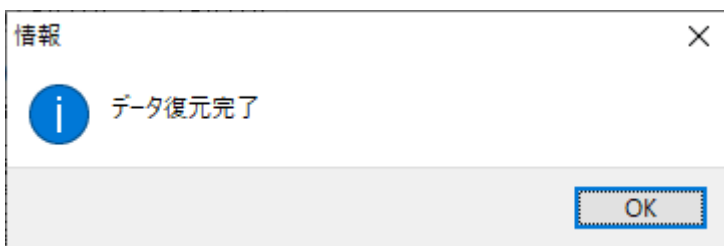
- ④ 「データ初期化」メッセージが表示されます。「OK」をクリックするとレセプトチェッカーLSが終了します。



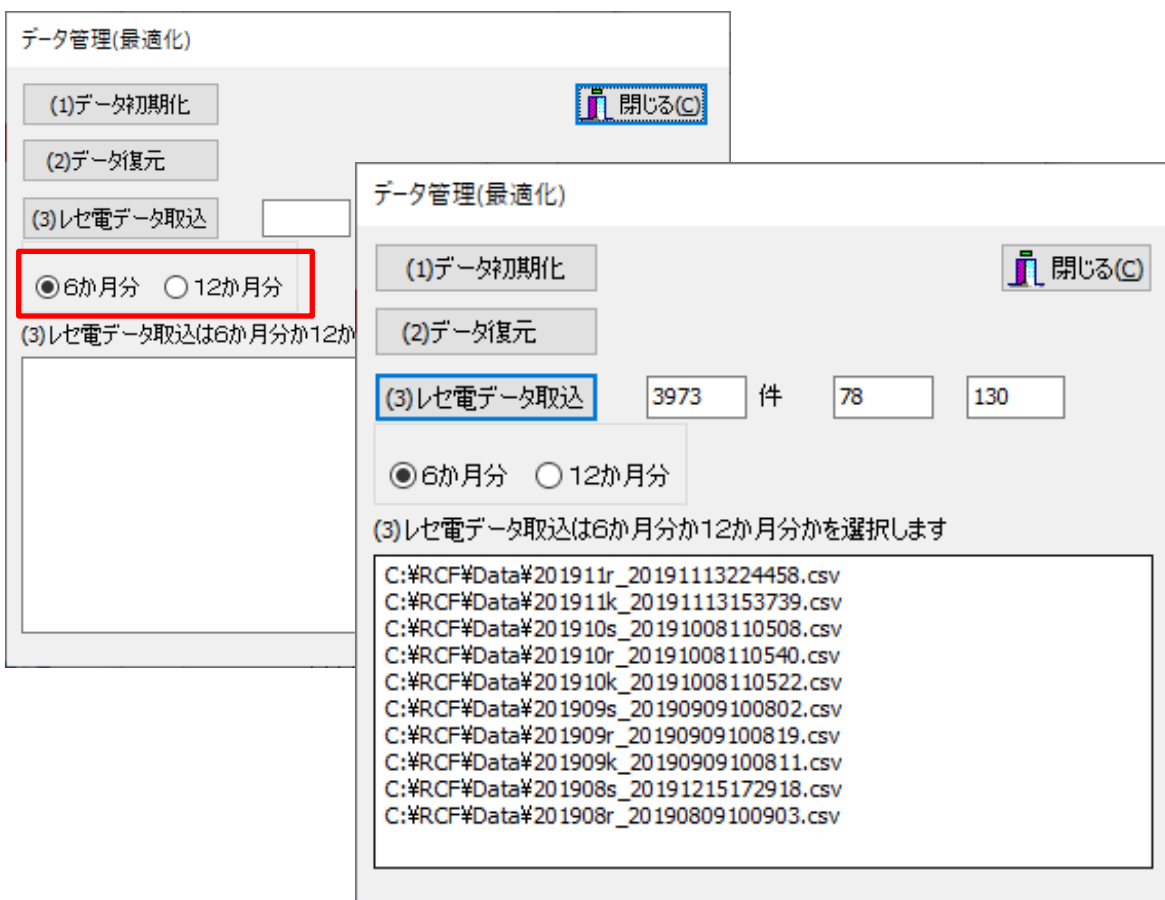
- ⑤ メニューから「設定」→「データ管理」→「データ管理（最適化）」画面が表示されたら、「(2)データ復元」をクリックします。



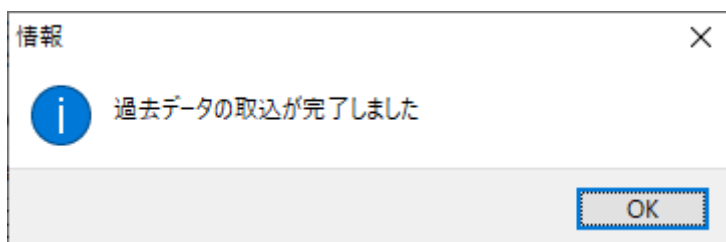
- ⑥ 「データ復元完了」メッセージが表示され、蓄積された学習データや抽出条件が復元されました。「OK」をクリックします。



- ⑦ 過去のレセ電データは「(3) レセ電データ取込」で取り込みます。
6か月分か12か月分かを選択して、「(3) レセ電データ取込」をクリックします。



- ⑧ 「過去データの取込が完了しました」と表示されたら終了です。



※注意

「(3) レセ電データ取込」では取り込みだけでチェックは行っていません。

3. 不具合対応

- (1) ORCA(日レセ)からデータ取り込み時に、公費単独で月中に公費負担者番号等が変わった場合、レセプトが分かれず、一つに纏まってしまう不具合を修正しました。
- (2) ORCA(日レセ)で医療機関コードが変更になり、ORCA(日レセ)の「医療機関情報」の「基本情報」で新しい医療機関コードに変更した場合、前月のレセプトであっても「医療機関番号が違います」といったメッセージが出て、チェックできない不具合を修正しました。